

私の夏休みの楽しみの一つに、甲子園で行われる全国高等学校野球選手権大会を見ることがあります。これは、小学生の頃からずっと変わっていません。一昨日の決勝戦で慶応高校が仙台育英高校を破って優勝を果たし、大会に幕がおろされました。高校生のチーム一丸となって懸命にプレーしている姿は、どの試合も、どの瞬間もすばらしく、キラキラと輝いています。その姿に心を動かされ、大きな力をもらっているのは私だけではないと思います。そんな甲子園で70年以上にわたり歌われているのが「栄冠は君に輝く」という曲です。「栄冠」とは、輝かしい勝利や成功などをたたえて与えられる冠や栄誉や名誉のこと。ただ、私はこの曲を聴いたり、詩を読んだりすればするほど、「栄冠」とは試合での勝利や成功などのことだけではなく、一瞬一瞬対戦相手にも自分にも全力で向き合い、がんばり通したからこそ感じることでできる充実感や満足感、つまり「幸せな光」なのではないかと思うのです。私はこの曲を聴くとわくわくする気持ちになったり、どこまでも澄み切った青空のようなすがすがしさを感じたりしていました。それは、一生懸命に進んだ先にある「幸せの光」をもっと浴びたいと思っているからだだったからなのかもしれません。本年度、太宰府東中学校は「笑顔が力になり、成長につながる！笑顔があふれる学校こそが伸び続ける！～Well-being（持続的な幸福）の実現を目指す学校に！～」というスローガンを掲げています。学校全体が「幸せの光」であふれるように、前期後半からもどんな



なことにも笑顔で全力で取り組んでいきます。

雲はわき 光あふれて
天高く 純白の球 今日ぞ飛ぶ
若人よ いざ
まなじりは 歓呼にこたえ
いさぎよし ほほえむ希望
ああ 栄冠は君に輝く

風を打ち 大地を蹴りて
悔ゆるなき 白熱の技ぞ力ぞ
若人よ いざ
一球に 一打にかけて
青春の謳歌（おうか）を綴れ
ああ 栄冠は君に輝く

空を切る 球のいのちに
通うもの 美しく匂える健康
若人よ いざ
緑濃き 棕櫚（しゅる）の葉かざす
感激を まぶたにえがけ
ああ 栄冠は君に輝く

チャレンジから大きな成長を遂げた夏休みでした！

夏休みも太宰府東中の生徒の活躍は目覚ましいものがありました。中体連筑紫区大会、筑前地区大会へと勝ち進み、県大会出場を果たした部活動もありました。その中でも、陸上部3年の男子が800m、1年の女子が100mハードルで全国大会（愛媛県開催）出場を果たしました。出場した3年生は「けがをして、走れなかった期間があったけれど、その時にできること、その時だからできることを積み重ねたからこそ今の結果につながっていると実感している」と述べていました。吹奏楽部は筑前地区吹奏楽コンクールに出場し、銅賞を受賞しました。自由曲「おもちゃ箱のファンタジー」は途中で手拍子やリコーダーの音も入り、部員全員が楽しんでいる雰囲気であふれていました。美術部は単独で展覧会を開催し、これまで制作してきた作品を発表することができました。展示された作品は力作ぞろいで、美術部の活動がますます大きくなり、活躍の場が広がっています。そして、太宰府市英語スピーチ大会「うめのみ杯」に5名が出場し、堂々とした姿で発表しました。「暗唱の部」「スピーチの部」ともに優秀な成績を収めています。



地域の一員としてがんばりました！

8月5日（土）に校区の5つの地区で夏祭りが行われました。会場づくりや販売の手伝い等で大いに盛り上げていました。また、8月19日（土）は各地区の資源回収も4年ぶりに実施することができました。活動をする中で、地域の皆様から「中学生のおかげで、準備が早くできた」「とても頼りになり、助かった」という声を聞きました。地域全体で育てていただいているのだと強く感じました。コミュニティ・スクールとして、地域の中の学校として、地域や保護者の皆様とともに、もっともっと伸びていけるようがんばっていきたく思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

